



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月6日

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所 東・福  
 コード番号 2924 URL <http://www.ifuji.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 宗徳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月7日 配当支払開始予定日 2018年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	6,783	△1.9	348	36.2	358	35.3	248	△2.8
2018年3月期第2四半期	6,913	2.5	255	△15.1	265	△14.3	256	22.5

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 242百万円(△11.2%) 2018年3月期第2四半期 273百万円( 19.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	29.88	—
2018年3月期第2四半期	30.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	10,745	5,470	50.9
2018年3月期	10,972	5,294	48.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 5,470百万円 2018年3月期 5,294百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2019年3月期	—	8.00			
2019年3月期(予想)			—	9.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,227	△1.2	730	5.4	737	3.9	492	△11.3	59.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期2Q	8,345,370株	2018年3月期	8,345,370株
2019年3月期2Q	15,728株	2018年3月期	15,677株
2019年3月期2Q	8,329,678株	2018年3月期2Q	8,329,962株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大規模な自然災害による影響や人口の減少に伴う国内需要の減少等の懸念材料はあるものの、企業業績や雇用環境の改善が見られ緩やかな回復基調で推移しました。

食品業界におきましては、原材料価格の上昇や人件費の高騰等による商品の値上げや内容量の減量（実質値上げ）等により、消費者の生活防衛意識が強まってきております。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同期比1.9%減の6,783百万円となりました。これは主に、鶏卵関連事業において鶏卵相場（全農東京M基準値）が前年同期比で約14.0%（約28.2円）も低下したため、連動する販売単価も大きく低下したことによるものであります。

一方で、販売数量は前年同期比6.8%増と好調に推移し、第2四半期連結累計期間における過去最高の販売数量となりました。

損益につきましては、鶏卵関連事業において販売数量が好調に推移したことに加え、鶏卵相場の低下に伴い原料仕入単価も低下したこと等により、営業利益は同36.2%増の348百万円、経常利益は同35.3%増の358百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前第2四半期連結累計期間において補助金収入116百万円を特別利益に計上しましたが、当第2四半期連結累計期間は特別利益の計上が多くなかったこと等により同2.8%減の248百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、主要な商品である液卵の製品販売単価及び原料仕入単価が鶏卵相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は製品販売単価及び原料仕入単価ともに高く推移し、低く推移した場合は製品販売単価及び原料仕入単価ともに低く推移する傾向にあるため、製品販売単価と原料仕入単価の差益を一定額以上確保するとともに販売数量を伸ばす努力をしております。

当セグメントにおける業績の重要な指標である販売数量につきましては、主要販売先である製菓・製パンメーカーへの販売が堅調だったこともあり前年同期比6.8%増となり、第2四半期累計期間における過去最高の販売数量となりました。

売上高につきましては、鶏卵相場（全農東京M基準値）が前年同期比で約14.0%（約28.2円）も低下したため、連動する販売単価も低下したことにより液卵売上高は前年同期比2.4%減の5,775百万円となりました。また、加工品売上高は同21.8%減の227百万円、その他売上高は同31.8%増の186百万円となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の合計の売上高は、同2.5%減の6,189百万円となりました。

セグメント利益につきましては、鶏卵相場の大幅な低下により販売単価が低下しましたが、原料仕入単価も低下しており、販売数量も好調に推移したため前年同期比39.7%増の325百万円となりました。

#### ②調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、新規商品の販売が増加したこと等により、前年同期比5.5%増の602百万円となりました。

セグメント利益につきましては、組織体制の見直しに伴う人件費の増加及び一時的な費用の発生等により、前年同期比14.1%減の12百万円となりました。

#### ③その他

当セグメントにつきましては、売上高は前年同期比6.3%増の16百万円となり、セグメント利益は同24.8%増の10百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は10,745百万円となり、前連結会計年度末に比べ227百万円減少しました。

流動資産は5,534百万円となり、前連結会計年度末に比べ116百万円減少しました。主な要因は、商品及び製品の増加125百万円及び現金及び預金の減少288百万円等によるものであります。

固定資産は5,211百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円減少しました。主な要因は、建物及び構築物の増加22百万円及び機械装置及び運搬具の減少47百万円等によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は5,275百万円となり、前連結会計年度末に比べ403百万円減少しました。

流動負債は2,800百万円となり、前連結会計年度末に比べ299百万円減少しました。主な要因は、短期借入金の減少86百万円、支払手形及び買掛金の減少76百万円、未払消費税等の減少124百万円等によるものであります。

固定負債は2,475百万円となり、前連結会計年度末に比べ103百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少87百万円等によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は5,470百万円となり、前連結会計年度末に比べ175百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益248百万円の計上及び配当金の支払い66百万円により利益剰余金が182百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.2%から50.9%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、前年同期に比べ65百万円減少し1,402百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、前年同期に比べ420百万円減少し76百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上361百万円、減価償却費の計上201百万円等により資金が増加し、たな卸資産の増加161百万円、未払消費税等の減少124百万円、法人税等の支払い139百万円等により資金が減少したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用された資金は、前年同期に比べ240百万円減少し123百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出125百万円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用された資金は、前年同期に比べ24百万円減少し240百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入150百万円、短期借入金の純減少額136百万円、長期借入金の返済による支出187百万円、配当金の支払額66百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月1日の「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,228	1,940
受取手形及び売掛金	2,406	2,396
商品及び製品	684	810
仕掛品	52	55
原材料及び貯蔵品	262	294
その他	21	41
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	5,650	5,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,939	1,962
機械装置及び運搬具（純額）	1,183	1,136
土地	1,912	1,915
その他（純額）	98	23
有形固定資産合計	5,134	5,038
無形固定資産		
投資その他の資産	15	11
投資有価証券	148	141
その他	25	21
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	172	161
固定資産合計	5,322	5,211
資産合計	10,972	10,745
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,011	935
短期借入金	1,146	1,060
未払法人税等	162	136
未払消費税等	145	20
賞与引当金	67	74
役員賞与引当金	—	19
その他	565	552
流動負債合計	3,099	2,800
固定負債		
長期借入金	1,904	1,816
長期未払金	567	567
繰延税金負債	81	65
その他	25	26
固定負債合計	2,578	2,475
負債合計	5,678	5,275
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	4,411	4,593
自己株式	△6	△7
株主資本合計	5,226	5,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	61
その他の包括利益累計額合計	67	61
純資産合計	5,294	5,470
負債純資産合計	10,972	10,745

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	6,913	6,783
売上原価	5,815	5,526
売上総利益	1,097	1,257
販売費及び一般管理費	842	908
営業利益	255	348
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	1
受取賃貸料	12	12
その他	4	3
営業外収益合計	17	17
営業外費用		
支払利息	8	6
営業外費用合計	8	6
経常利益	265	358
特別利益		
補助金収入	116	0
受取保険金	—	10
特別利益合計	116	11
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
災害による損失	—	9
特別損失合計	0	9
税金等調整前四半期純利益	381	361
法人税、住民税及び事業税	109	125
法人税等調整額	16	△13
法人税等合計	125	112
四半期純利益	256	248
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	256	248

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	256	248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	△6
その他の包括利益合計	17	△6
四半期包括利益	273	242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	273	242
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	381	361
減価償却費	215	201
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3	7
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	21	19
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	8	6
受取保険金	—	△10
補助金収入	△116	△0
固定資産除売却損益 (△は益)	0	0
災害損失	—	9
売上債権の増減額 (△は増加)	△214	10
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△289	△161
仕入債務の増減額 (△は減少)	252	△76
未払消費税等の増減額 (△は減少)	54	△124
その他	182	△30
小計	495	209
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△6	△6
保険金の受取額	—	10
補助金の受取額	116	0
法人税等の支払額	△109	△139
営業活動によるキャッシュ・フロー	497	76
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△204	△204
定期預金の払戻による収入	204	204
有形固定資産の取得による支出	△355	△125
無形固定資産の取得による支出	△0	—
投資有価証券の取得による支出	△1	△2
その他	△6	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△364	△123
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△246	△136
長期借入れによる収入	240	150
長期借入金の返済による支出	△184	△187
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△75	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△265	△240
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△132	△288
現金及び現金同等物の期首残高	1,600	1,690
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,468	1,402

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,347	549	6,897	15	6,913
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	21	21	—	21
計	6,348	570	6,919	15	6,935
セグメント利益	233	14	247	8	255

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	247
「その他」の区分の利益	8
四半期連結損益計算書の営業利益	255

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,189	577	6,767	16	6,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	24	24	—	24
計	6,189	602	6,791	16	6,807
セグメント利益	325	12	338	10	348

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	338
「その他」の区分の利益	10
四半期連結損益計算書の営業利益	348

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。